

子市議公報



<http://www.city.ama.aichi.jp/gikai/>



桜と市民病院（4月3日 あま市甚目寺にて）

3月定例会のあらまし

平成27年度予算

市政を問う(12議員が一般質問)

審議結果一覧

2ページ

4ページ

10ページ

18ページ

総額 537 億円 新年 年度 予算 可決 一般 会計 4.24% 増 26.4 億円



新市民病院建設現場

3月定例会のあらまし

3月定例会は、2月26日から3月19日までの22日間、開かれました。

平成27年度予算について、所管の各常任委員会において会計ごとに慎重な審議を行い、本会議において原案のとおり可決しました。また市長から、条例の制定および改正や平成26年度補正予算などが提案され、すべて可決しました。

また議員より、委員長の報酬を削減する条例の一部改正議案が提出され、全員賛成で可決しました。そのほか、請願1件、陳情1件を審議し、請願を不採択、陳情を採択と決定し、議員発議の意見書を2件、決議を1件可決しました。

平

成27年度の一般会計と7つの特別会計、2

つの企業会計を合わせた当初予算総額が、537億5442万円と決まりました。このうち、一般会計は264億800万円、前年度比4・24%、10億7500万円の増額となりました。

を作成します。

都市公園内の老朽化した遊具施設の改築・更新や危険遊具の撤去を計画的に行うため「公園施設長寿命化整備費」に3500万円を計上。資源循環対策では、使用済小型電子機器などの再資源化を促進するため、回収事業費として162万円を計上。

新

規・拡充の主な事業として「防災ハザード

マップ作成費」699万円が計上されました。南海トラフ巨大地震の被害予測調査を踏まえて「地震・津波ハザードマップ」

あま市健康づくり計画では、市民意識調査を実施し、第2次健康づくり計画を策定するため、「健康づくり計画策定費」228万円を計上。

児童クラブの定員を小学校6年生まで増員するため、1億384万円が計上されました。



平成 27 年度会計別予算一覧表

(単位：万円、%)

会 計 名	2 7 年 度	2 6 年 度	増 減 額	伸 び 率
一 般 会 計	264億800	253億3300	10億7500	4.24
国 民 健 康 保 険	112億8432	97億2641	15億5791	16.02
土 地 取 得	31	70	△39	△55.97
簡 易 水 道 事 業	4620	4787	△167	△3.48
市 営 住 宅 管 理 事 業	8568	4307	4261	98.94
介 護 保 険	49億1415	45億7252	3億4163	7.47
公 共 下 水 道 事 業	18億2487	18億615	1872	1.04
後 期 高 齢 者 医 療	16億4751	15億4213	1億538	6.83
水 道 事 業	14億2504	13億1026	1億1478	8.76
病 院 事 業	61億1834	101億1968	△40億134	△39.54
合 計	537億5442	545億178	△7億4736	△1.37

注 1) 合計欄は各会計の端数処理により一致しません。

注 2) 増減額、伸び率は端数処理により、表内での計算と一致しません。

議

議 員報酬条例が改正されました。これまで議会の委員長には、41万8000円支給されていま

ましたが、5月1日からは議員と同額の40万3000円となります。

介

介護保険条例が改正されました。介護保険法施行令の改正を踏まえ、平成27年度から29年度までの介護保険料を改正するものです。

一

一般質問は、3月4日に行われました。12人の議員が登壇し、市の行政全般について多岐にわたって質問が出されました。(質問の内容は11ページから16ページに掲載しています)

「勇健都市」の実現で

持続可能な地域社会を

『自助力』、『共助力』、『公助力』を結集することで
力強く健やかな『勇健都市』づくりに邁進していきたいと
市長の施政方針が示されました。

新年度予算は、本会議での質疑を踏まえ、3つの常任委員会へ付託され、
延べ4日間にわたって審議されました。

その結果、付託されたすべての議案は、常任委員会で可決すべきものと決定。
19日に行われた本会議で可決しました。

一般会計

264億円の使いみち決まる
「選択と集中」を行い、中長期の視点に立ち

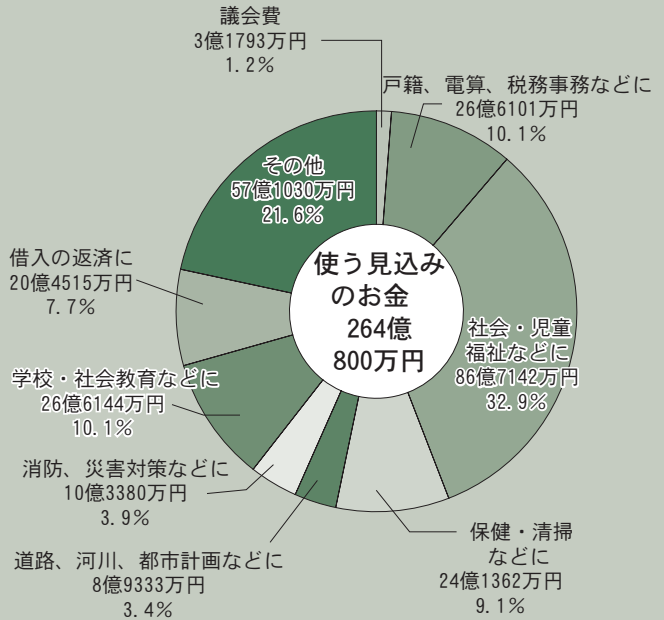
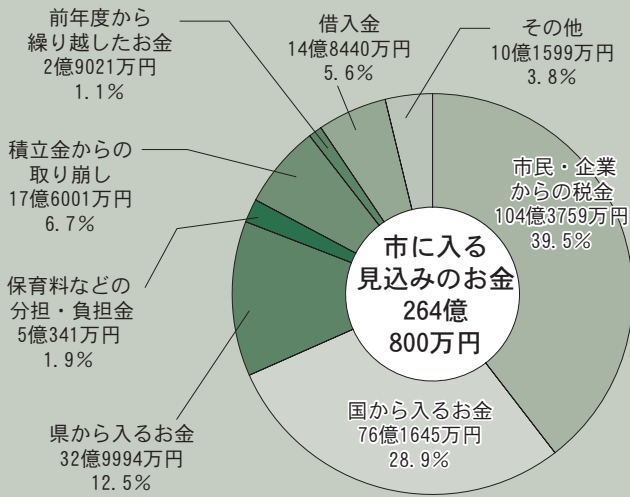
財政規律を堅持

主な新規・拡充事業

■防災ハザードマップ作成費	699万円
■建築物耐震改修促進計画策定費	635万円
■公用車青色回転灯設置費	81万円
■使用済小型電子機器等回収事業費	162万円
■公園施設長寿命化整備費	3500万円
■橋梁改築事業負担金	400万円
■健康づくり計画策定費	228万円
■施設整備費（総合福祉会館）	741万円
■施設整備費（美和すみれの里費）	2219万円
■実費徴収分補足給付事業費	75万円
■農地中間管理事業費	4673万円
■施設整備費（産業会館費）	479万円
■公共施設等総合管理計画策定費	451万円
■個人番号カード交付事業費	3042万円
■あま市市制周年事業費	162万円
■総合防災訓練事業費	287万円
■がん検診事業費	1億1831万円
■運営費（児童クラブ費）	1億384万円
■教育相談支援費	1015万円
■職員研修費	477万円

予算編成の方針

真に必要な行政サービスの堅持に努めつつ、将来の山積する課題に対応できる予算とするためにも、「選択と集中」による実効性の高い取り組みを行い、中長期の視点に立って財政の健全化を堅持する方向で予算編成。



一般会計の概要

歳出は、補助費等が「病院事業会計支出金」の増加や「農地中間管理事業補助金」の新規計上などにより前年度比4億8737万円の増額。歳入では、市税が前年度比9084万円増（0.88%増）の104億3759万円など。

自主財源比率

問 前年度より高くなった理由は、

企画財政部長 新病院の開院に向けた準備経費に対応するため、財政調整基金からの繰り入れを増額したため。

問 今後の見込みは、

企画財政部長 新庁舎や新学校給食センター整備の着手時に多額な市債の発行を見込んでいるため、自主財源比率は低下する。

地方交付税

問 減額の理由は、

財政課長 平成27年度から合併特例措置の上乗せが段階的に縮減されていくため。

市債

問 臨時財政対策債の減額の理由は、

財政課長 地方交付税と連動しており、地方交付税が減額されれば、臨時財政対策債の発行可能額が減額となるため。

諸支出金

問 増加要因は、

財政課長 主に病院の開院に向けた準備経費により、病院事業会計支出金が大きく増加したため。

基金

問 基金の取り崩しは今後どうなるのか。

財政課長 平成27年度から交付税の縮減や社会保障費の増大などで、少なからず基金が減っていくと考える。

（こ）は

【地方交付税】

地方自治体の収入の格差を補うことを目的に、国税の一部について一定割合の額を国が交付する税のこと。自治体財源の不足分に応じて額を決定する普通交付税、自然災害時などで交付する特別交付税がある。

【臨時財政対策債】

国の地方交付税特別会計の財源が不足し、地方交付税として交付するべき財源が不足した場合に、地方交付税の交付額を減らして、その穴埋めとして、該当する地方自治体に必要に応じて地方債を発行させる制度。

（6ページにつづく）

(5ページからつづく)

公用車青色回転灯設置費

問 青色防犯パトロールの講習を受けるとあるが職員何人を予定しているのか。

総務部次長兼安全安心課長 医療職および保育士を除く職員420名を予定している。

問 設置車両10台の3庁舎配分は。

総務課長 既存の2台と合わせて全部で12台。3地区に均等に4台ずつ配置したいと考えている。

問 市民にも講習を受けてもらって、有効活用できないか。

総務部長 職員が通常業務に使用している公用車に防犯パトロール車の役割を付加するもので、市民の方が活用することは考えていない。

問 設置はいつごろの予定か。

総務部長 平成27年9月の中旬を予定している。

地域公共交通 試行運行事業

問 運行開始までのスケジュールは。

企画財政部長 4月に公募をし、5月に企画提案書の受理、6月に受託業者を決定し、契約、7月からおおむね3カ月程度で法手続を行う。その後、秋には試行運行を開始したい。

問 工事請負費が昨年度と異なる理由は。

企画政策課長 平成26年度は、バス停の数を150基と想定し、予算を積算した。

平成27年度は、ルート上のバス停の位置がほぼ固まり、公共交通会議の

中で整ったということでは110基の予算を計上したため。

問 乗車料金は。

企画財政部長 1日幾らという形で、中学生以上200円、小学生100円、75歳以上、障がい者本人と付き添い1名、未就学児、自動車運転免許証自主返納者は無料となる。

問 コースは。

企画政策課長 公共施設、商業施設、医療施設、名鉄バス路線、名鉄津島線をコンバクトに結んだコースを設定している。

問 運行日時は。

企画政策課長 火曜日、金曜日、日曜日の午前9時から午後5時としている。

地区集会所建設(改修)補助金

問 建設地区は。

総務課長 七宝町沖之島公民館、七宝町遠島公民館、花正公民館、小橋方公民館の4カ所である。

問 限度額は。

総務課長 工事費の2分の1を補助し、上限は500万円。100万円未満の事業費は、対象外である。

市民活動センター事業費

問 申し込みはどのような受け付けているのか。

企画政策課長 場所は七宝産業会館の1階。自由に使用できるスペースについては、申し込みは必要ない。打ち合わせスペースは、窓口、電話、

電子メールで受け付けている。予約なしでも空きがあれば、利用団体に限り、利用していただいている。



市民活動センター

問 委託料の内容は。

企画政策課長 市民活動を行うに当たっての相談事業、登録団体が利用するコピー機やプロジェクトなどの管理、市民活動団体のための講座の開設、市民活動団体情報の提供などを委託する。

派遣職員負担金

問 どこからの派遣職員で、何人予定しているのか。

企画財政部長 愛知県から県職員が5人派遣される。

問 配属先は。

企画財政部長 企画財政部に1名、総務部に1名、福祉部に1名、建設産業部に2名配置する。

国際化推進事業

問 事業の内容は。

企画財政部長 災害時の避難所運営を想定し、避難された外国人に対し避難所内の設備やルールなどが周知できるように、避難所運営で活用できる掲示物を作成する。

子宮頸がん予防ワクチン

問 これまでのあま市の接種者数は。

健康推進課長 1回でも接種した方は1487人である。

問 副反応が出た件数は。健康推進課長 副反応じゃないかという相談は5件あった。

問 副反応に対する救済制度は。

健康推進課長 今後、研究していきたい。

使用済小型電子機器等回収事業

問 回収場所、回収時間は。

市民生活部長 甚目寺庁舎南側出入口付近にある

リサイクルステーション



リサイクルステーション内で、年末年始を除く毎日午前9時から午後5時まで実施予定。

また、携帯電話程度の大きさのものに限り、あま市指定のごみ袋販売店のうち、24時間営業のコンビニエンスストアでも回収ができるよう各店舗に協力をお願いしている。

問 回収後は誰が処分するのか。

環境衛生課長 県に登録している業者が行う。

後期高齢者福祉医療費

問 対象者は何人を予定しているのか。

保険医療課長 1287人を想定している。

問 医療費が無料になる制度だが、知らない人たちも多い。周知についてどう考えているのか。

保険医療課長 広報、ホームページなどでPRしていきたい。

児童遊園費

問 遊具の撤去も考えているのか。

子育て支援課長 修繕がきかない場合は、撤去が必要になる場合もあるかと考える。

施設整備費（保育園）

問 萱津保育園防水工事と新居屋保育園外装塗装工事の内容は。

福祉部長 萱津保育園は屋上からの漏水があるため、屋上全面の防水工事を行う。

新居屋保育園は建物各所にひび割れがあり、塗膜の浮きなどが数多く見られるため、塗装工事を行う。

生活困窮者自立支援事業

問 事業の内容は。

社会福祉課長 生活保護に至る前で、なかなか相談ができないような方に対して、甚目寺庁舎の窓口で相談を受ける。

施設管理費

問 防犯カメラ借上料とあるが、何台設置するのか。どのような性能を持ったカメラなのか。

建設産業部長 3台を予定している。全天候型のSDカード内蔵で1週間の録画をする機能がある。

問 どこに設置するのか。

土木課長 名鉄七宝駅南側の沖之島駐輪場に2台、名鉄七宝駅北側の富塚駐輪場に1台設置する。

木造住宅耐震化促進費

問 耐震シエルトとは。

都市計画課長 地震発生時に住宅の倒壊から居住者の命を守るための装置であり、既存の住宅内の一部を鉄骨造りなどにし、仮に家が倒壊しても、生存空間は保たれる構造のもの。

排水路現況調査費

問 調査はいつ頃行うのか。

建設産業部長 水位の高い6月から9月を予定している。

(7ページからつづく)

総合防災訓練

事業費

問 昨年の3カ所から5カ所に場所が増えるが、美和地域が1カ所の理由は。

総務部次長兼安全安心課長 地域密着型の訓練で行うことを踏まえ、市内の中学校での開催を計画している。

問 避難所体験の内容は。

総務部次長兼安全安心課長 避難所問仕切り体験や仮設トイレの設営体験などを計画している。

防災ハザードマップ

問 作成時期と配布方法は。

総務部長 作成は平成28年1月頃で、全世帯に市

広報などと同時に配布する予定である。

消防資機材等整備費

問 修繕の内容は。

総務部次長兼安全安心課長 七宝グラウンドの飲料水兼耐震性貯水槽の点検の結果、緊急遮断弁のシリンダーに不具合が見つかり、取りかえが必要になった。

ボックスト事業

問 事業の詳細は。

教育部長 平成27年4月生まれからの乳児を対象に、乳児健診時の読み聞かせで家庭での読み聞かせの大切さを説明し、読み聞かせ終了後に1冊の絵本とバッグをセットにして配布する予定である。

小中学校適正規模等見直し検討事業

問 どういう方法で保護者や住民の理解を得るのか。

教育部長 検討委員会の委員の任期を1年から2年とし、1年交代により議論がなかなか進展しない現状を改めたいと考えている。

また、27年度は子ども目線の考えを把握することが重要と考え、児童生徒を対象に調査を実施したいと考えている。あわせて、保護者や対象地域の住民、関係校の教職員への調査も考えている。

給食材料費

問 消費税増税や物価上

昇による給食費への影響は。

教育部長 平成27年度は1人1食当たり、市より消費税増税分などで10円を補填する。

今後は物価の上昇などを見据え、給食費の値上げも視野に入りたい。

基目寺総合体育館駐車場増設

問 どこに何台分つくるのか。

教育部長 土曜、日曜日の大会などの開催時に発生する駐車場不足を解消する目的で、既設の野外ステージ前の広場に区画線を引き、臨時的に駐車場として利用できるようにする。

台数は現在のところ、30台前後を予定している。

討論(要旨)

【反対討論】

野中幸夫 就学援助の受給率が中学生で11・4%となり、子どもの貧困があまりでも影響している。

また、期日前投票の場所が3庁舎から本庁舎だけになり、期日前投票したいという住民の願いに応えておらず、住民の参政権を保証しない、民主主義を否定するものとして受け止められない。

社会保障・税番号制度への準備が進んでいるが、社会保障と税だけに活用されていくものではなく、医療情報、預貯金までもが対象となろうとしている。住民の情報が、全て行政によって管理される危険が一層強まっている。評価できる内容もあるが、危険な内容が含まれている。

松下昭憲 木田の区画整理について、3900万ほどの事業費を組んでいるが、23年ほど前の美和町時代にも同じメンバーで木田の区画整理をやるうとしていた。今回もまた同じメンバーが手を挙げている。また、民間の不動産屋がかなりの土地を買っているが、民間の力を利用したら、多分3年でやれるのではないかと考える。市がお金を出さなくても、民間にやつてもらえばいい。市で区画整理をやったら、これからまだお金を出さなくてはならない。そして10年かかるだろう。まちの繁栄を祈るなら、民間に任せなければいけない。

【賛成討論】

林正彦 平成27年度一般会計予算は、昨年に比べ、4・24%の伸びの予算となっている。これは、開院も間近に控えた病院事業負担金や高齢化に伴う社会保障費など欠くことのできないものである。

災害や防犯面においては、地震・津波ハザードマップ作成、耐震シエルトーへの補助金など災害に備え、防犯面にも積極的な予算となっている。

健康増進事業では、健康マイレージ事業、がん検診事業の拡充、子どもインフルエンザ予防接種費用の助成など、健康や予防面に配慮している。

子育て支援では、児童クラブの定員を小学校6年生まで増員するなど、家族が働きやすい環境をサポートし、保育環境の整備、充実を図っている。また、満13歳から15歳の通院の医療費について、自己負担額の3分の2の

助成が26年度に実現したが、引き続き27年度予算にも含まれている。

全てにおいて、市民の安全、安心な暮らしを守るために必要な予算と考える。

採決結果

賛成多数により、原案のとおり可決。

病院事業会計

主な質疑

問 入院・外来患者数の根拠は。

市民病院事務局長 平成27年度秋の新病院開院後は、何らかの部分的な診療制限が発生する見込みが高く、当該期間の患

者数は減少する可能性が高いと考えている。

問 計画目標と異なる理由は。

市民病院事務局長 入札不調により開院予定時期が半年ほど遅れているため。

問 大治町の協力金が3000万円から2500万円になった経緯は。

管理課長 当初の協力金の合意期間が26年度で終了することになり、引き続き同額で協力をお願いしたが、3000万円という金額に根拠があつたわけではなく、大治町との協議の結果、引き続き5年間、2500万円の協力をいただけることになった。

問 大治町在住の方が市民病院を利用される割合

は。

市民病院事務局長 26年度の1月までの入院患者数は2421人、全体では14・7%、外来患者数は4158人、全体では7・4%である。

問 市としては赤字の状態である。協力金を強くお願いすることはできないのか。

市民病院事務局長 大治町からの患者数、外来患者数、入院患者数を報告し、何度も交渉したが、相談の結果、減額の要望があつた。病院としてはあくまで協力金であるため、了承した経緯がある。**市長** 今の患者の動向なども含めてお願いしたが、大治町としても財政や住民のことを考えた結果だということ、理解していただきたい。

問 10億に近い負担金が

一般会計から運営費へ投入されているが、余りにも額が大きすぎるのでは、新しい病院においての改革プランも含めてお伺いしたい。

管理課長 当院規模としての10億の負担は非常に大きく重いものであり、国の繰出基準に基づいて収支均衡できる経営状況にもっていくことが求められている。病院の経営改善などを目的として、地域医療の提供という観点から、新たな改革プランを策定していく。

問 改革プランの内容として、外部からアドバイザリーを入れてはどうか。**市長** 病院の中でモチベーションが上がることを、そして改革をするには、医師の意識をいかに変えていくか、また病院および地域のことを分かっていたらいいと思うので、前へ進むことはでき

ない。これらのことを全部加味した上で、考えていきたいと思う。

討論(要旨)

【反対討論】

岩本一三 病院事業会計は、厳しい経営の中、市民の皆様を守るために努力している。組合病院から5年経過したからと議会に何ら説明することなく大治町の協力金を500万円減額するなど、市長は一般会計からの持ち出しは10億円が限度であるといながら、一般会計から病院会計へ補助する金額は16億401万2000円と明記されており、理解しがたい。

採決結果

賛成多数により、原案のとおり可決。



櫻井 信夫 議員(14 ページ)

1. 地方創生の取り組みについて

足立 詔子 議員(14 ページ)

1. 地域包括ケアによる地域医療の取り組みは

八島 進 議員(15 ページ)

1. 新年度の予算編成と今後の財政について

柏原 功 議員(15 ページ)

1. 家具転倒防止金具の推進を
2. 安否札の推進を

花木 敏行 議員(16 ページ)

1. 農業振興地域の活性化は

石田 良雄 議員(16 ページ)

1. あま市の都市計画道路について

加藤 哲生 議員(11 ページ)

1. 市の公園施設の改善について
2. 火葬費の助成について

松下 昭憲 議員(11 ページ)

1. 新あま市民病院開院について

野中 幸夫 議員(12 ページ)

1. 各施設の給湯器について

橋口 紀義 議員(12 ページ)

1. 道路や橋などのインフラ総点検について
2. 市民病院に口腔ケア専門室の設置を

後藤 幸正 議員(13 ページ)

1. 市道および交差点の維持・安全管理について

寺本 隆男 議員(13 ページ)

1. 児童遊園、ちびっ子広場について





松下 昭憲 議員

問 新病院の医療体系の将来像をどのように考えているか。明確なビジョンを示していただきたい。市民病院事務局長 急性期及び回復期の医療提供

体制により一般医療から回復期医療まで総合的な医療を担い、地域住民の要請に応えつつ、自治体病院としての使命を果たしていききたい。また、新たに患者支援センターの設置を行い、地域住民が安心して生活できる地域医療確保に取り組んでいく。

問 医師および看護師の確保はできているか。ま

市民病院事務局長 急性期から回復期までの領域

た、現在の状況は。市民病院事務局長 現在、常勤医師は14名、看護師は90名。このほか、新病院開院時までに常勤医師を3名、非常勤医師1名を内定しており、引き続き、医師確保に全力で取り組んでいく。

問 今秋に開院となるが、180床をどのように利用される予定なのか。市の考えは。

市民病院事務局長 急性期から回復期までの領域

に対応するため、回復期リハビリテーション病床を45床整備していく。新病院では、急性期病床、回復期リハビリテーション病床を機能的に配置し、一般救急から急性期、回復期における医療提供により地域医療の貢献を目指していく。



新あま市民病院建設現場

新あま市民病院開院について



森が丘公園

市の公園施設の改善について



加藤 哲生 議員

問 ①あま市の公園の件数は。②公園のトイレ増設についての考えは。③公園内の避難対策はどうしているか。④公園の一部にドッグランなどを設置する必要があると考え

るが、市の考えは。建設産業部長 ①都市公園や児童遊園など、合計で129カ所設置している。②新たなトイレの設置予定はない。③指定避難所としての位置づけはないが、一時的な集会所、待機場所として公園を利用してもらうことになる。④公園は限られたスペースをさまざまな市民が利用しているため、ドッグランなどの施設を設置する予定は

ない。

火葬費の助成について

問 ①昨年中のあま市の死亡者数は。②名古屋市の八事斎場や稲沢市の祖父江斎場の使用料は市内と市外で格差がある。市外の場合、八事斎場は6万5千円、祖父江斎場は4万5千円高くなるが、軽減対策は。③生活困窮者などに対する市独自の補助制度が必要不可欠で

あると考えるが、市の考えは。市民生活部長 ①715人であった。②五条広域事務組合において進めている斎場建設の進捗状況を見て、助成などを含めた制度の調査研究をしていきたい。

市長 ③近隣に補助をしている自治体はないが、全国の自治体の情報を収集し、調査研究をしていきたい。



甚目寺総合福祉会館

各施設の給湯器について



野中 幸夫 議員

問 甚目寺総合福祉会館や七宝総合福祉センターなどは給湯器が撤去されている。美和のすみれの里は撤去予定、甚目寺老人福祉センターは設置されていない。これらは、

高齢者施設であるので、給湯器を設置して住民に同一のサービスを提供する必要がありと考えるが、**市民生活部長** 甚目寺総合福祉会館の給湯器は撤去しているが、入浴されている方々の健康を考えると、水分補給が必要であり、26年度末までにウォータークーラーを設置する予定。七宝総合福祉センターは、入浴施設にウォータークーラーを2台設置している。

企画財政部長 甚目寺老人福祉センターについては、今後、設置を検討する。**問** 福祉会館、憩の家の利用証交付は、申し出をする必要があるが、60歳以上の方が利用できるように郵送するべきではないか。また、七宝総合福祉センターの条例第1条において「市民の老人及び心身障害者の福祉を増進するため」とあるが、「市民の老人」というのは、理解ができず、意味不明である。条例を改正すべきではないか。

福祉部長 利用証の交付は、60歳以上の方が利用できるのと市のホームページで紹介しているが、今後、利用される方にPRができるように検討する。七宝総合福祉センターの条例については、表現が悪く、分かりにくいので、改正したい。

道路や橋などのインフラ総点検について



橋口 紀義 議員

問 2月3日に篠田地区で、市道と交差する農業用水の道路面が25センチほどにわたり陥没した。人的被害が無くて幸いしたが、老朽化した配管が原因との事であった。これまで市が行ってきた総点検は、万全であったのか。

建設産業部長 24年度から国、県の要領に基づいて点検を行ってきた。**問** 用水路を管理する組合との連携はとれているのか。**建設産業部長** 必要に応じて管理協定を締結するなど連携を密にしているが、昭和50年代施工の箇所については、一部不明確な部分があり、今回の事故を受けて、県から調査依頼があった。

問 危機管理の観点からも道路の空洞化対策を行い、新たに劣化損傷箇所を早期に発見し、直ちに補修する道筋を作るべきと考えるが。**建設産業部長** 職員のパトロールを強化し、劣化箇所の早期発見と修繕に努めていく。**問** 路面にマイクロ波を照射し、路面下をスキャンして空洞化や橋の劣化箇所を発見する専門企業もある。検討しては、

土木課長 今後、調査、検討していく。**市民病院に口腔ケア専門室の設置を**
問 地域包括ケアシステムの議論がなされている。健康維持のため、ケア専門室を設置しては、**市民病院事務局長** 嚥下専門の認定看護師がいて

口腔ケアをしている。



篠田橋の陥没



寺本 隆男 議員

問 都市公園、児童遊園、ちびっ子広場について。旧七宝町の場合、旧他町と比べて、総トータルの数とか、使っている遊具などの内容が見劣りする

問 都市公園と同じく、遊具の改築、更新を調査する気があるのか。

初予算として3850万

児童遊園、ちびっ子広場について

問 都市公園、児童遊園、ちびっ子広場について。

問 都市公園と同じく、遊具の改築、更新を調査する気があるのか。

初予算として3850万



伊福交差点

市道および交差点の維持・安全管理について



後藤 幸正 議員

問 市道の維持管理および交差点の安全対策は、市民からの要望は実行しているか。

0万、舗装修繕に4000万、排水路整備に1億円。限られた予算の中で整備を進めていきたい。

問 市民ができる程度の道路補修を行った場合に、マイレージポイントを出したり、税金を減免したりするなど、道路の維持管理などを市民と協働ですることができないか。

プ事業があり、あま市では6団体の方に行っていた。今後、ボランティア活動で安全に行える維持管理を検討していきたい。

福祉部長 特に劣化・損傷を把握しながら、危険な遊具、フェンスがあれば、修繕を実施している。

福祉部長 ほど計上している。行政改革の観点からの考え方は。

市長 人口の増減によって、増になっているところには、公園をつくらなければいけない。行財政改革の中で位置づけをし、統廃合も含めて考えていくことが大変重要になると思っています。



下之森ちびっ子広場



県道名古屋津島線バイパス

地方創生の取り組みについて



櫻井 信夫 議員

問 地域発展に重要な県道名古屋―津島バイパスが平成24年5月に七宝庁舎前まで整備され、旧県道の交通渋滞の解消、商業施設の開業など地域の発展、災害時の輸送道路

の確保、および外観の改善などの効果・利点は多く、住民からさらに津島方面に向けてバイパスの延伸整備の期待は大きい。津島までのあま市内の延伸整備の早期実現は、**建設産業部長** 県道名古屋―津島線バイパスは名古屋圏の主要道路ネットワークを形成する上で重要な路線であり、あま市都市計画マスタープランの重点施策路線として最優先に整備する。現在、

県とともに地権者との用地交渉を進めており、継続的な予算確保を県に要望していく。
問 あま市の10年後の人口目標について、現計画より高い目標を期待しているが、**企画財政部長** あま市の総合計画では、平成26年の約8万8700人から平成33年においては8万7700人に減少すると予測されるが、目標は9万人としている。

市長 国が今、地方創生を進めようとしており、これは地方の人口を増やすことである。あま市総合計画では9万人の目標をつくっているが、あま市版創生計画作成のもと、さらに人口増の計画をつくっていく。

地域包括ケアによる地域医療の取組みは



足立 詔子 議員

問 ①地域医療の連携の取り組み、およびあま市民病院での女性医師による女性専門外来の相談窓口設置について。②地域包括ケア病棟の導入につ

いて。③あま市民病院の巡回バスの増便について。**市民病院事務局長** ①名古屋第一赤十字病院を初めとする病院や地域の各診療所との連携を持ち、今後、在宅復帰していたり、だいたいのリハビリを強化していく。女性専門外来の相談窓口はないが、新病院では患者支援センターを設置し、さらに相談業務などの充実を図つ

ていく。
② 地域包括ケア病棟の導入は、今後の患者の動向などを見ながら検討したい。
③ 他コースとの発着時刻の関係上、増便の調整は難しいが、新病院ではコース、発着時刻などの見直しを検討している。
問 あま市の健康寿命を延ばす取り組みは、**市民生活部長** ①65歳以上の高齢者の生活機能の低下予防や維持向上に、

地域の公共施設を利用して健康づくりに取り組んでいる。
問 2025年を見据えた地域包括ケアへの地域医療の取り組みは、**福祉部長** 在宅医療と介護が一体的に提供されることが鍵となっており、地域の医療・介護サービス資源の把握をし、医療関係者および地域住民に對して、在宅医療・介護連携の理解の普及、啓発を図っていく。



あま市民病院の巡回バス



柏原 功 議員

問 家具の転倒防止金具の取り付け推進のために、一定条件を満たした方に金具取り付け費用の助成をすべきと思うが。

答 家具の転倒防止金具の助成については、購入費だけでなく、取り付けを含んだ支援を研究していきたい。

問 あま市での取り付け状況の把握はされているのか。されていないのであれば、アンケート調査をされてはどうか。
安全安心課長 家具の転倒防止金具の取り付け状況については、啓発活動

問 名古屋市瑞穂区の取り組みで、災害が起きたときに2000世帯以上の住人が、家族の安全を周囲に伝えるための安否札である。我が家は安全

安否札の推進を

をしているが、把握はしていない。アンケートについては、広く市民の方々にも防災のアンケートなどを視野に入れていきたいと考えている。

安全安心課長 安否を確認する一つの手段として、今後、自主防災会などに紹介し推進していきたい。

我が家は無事ですと書かれたA4サイズのピンク色の用紙を玄関先に掲げる。無事だった住民は、安否札のない家族だけを確認して回り、けが人などを発見する試みである。一人でも多くの住人を救う有効な手段だと考えるが、あま市でも取り組まれているかどうか。



家具転倒防止金具

家具転倒防止金具の推進を



あま市役所本庁舎

新年度の予算編成と今後の財政について



八島 進 議員

問 市の50年、100年先を考えながらの予算編成とは具体的に。
企画財政部長 平成32年度には合併特例措置での地方交付税が現水準と比較し、13億円減収、また、

旧町時代の公共施設などの老朽化更新に膨大な費用が必要となるため、長期的視点で施設の更新、統廃合、長寿命化などを行い、公共施設の最適な配置を実現し、将来にわたり健全な財政運営をと考えている。

問 市民病院への負担金増大の原因と対策および見通しは。また、新病院に医師確保の見込みは。
市民病院事務局長 例年の負担金約9億6千万円に加え、新病院開院に伴う臨時的な経費として約3億円を含んでいる。また、医師確保については全力で取り組んでいく。

問 今後の財政について行政手腕が求められるが、①10年後の市債予想額は。②市税が増える事業は。また、減額とならぬ対策は。
企画財政部長 ①平成37年度末で293億円となる見込み。要因は、新庁舎整備や新学校給食セン



あま市内の水田

農業振興地域の活性化は



花木 敏行 議員

問 農地を守る計画は、策定されていると思うが、策定後の実施は。
建設産業部長 農地の利用状況の情報収集に努め、耕作放棄地の予防、優良な農地の確保を進める。

問 農地を守る計画は、策定されていると思うが、策定後の実施は。
建設産業部長 農地の利用状況の情報収集に努め、耕作放棄地の予防、優良な農地の確保を進める。

問 農業振興についてのは、実施可能な計画を作るのが本当だと思う。次のステップとして、地域に出向き、内容を説明し、協議する場を設け、地域の活性化・コミュニティの醸成を図っていくのが協働のまちづくりと考え。それも一つの地域でなく、大きなエリアを持った範囲で考えるべきだが。
産業振興課長 現在実施している人・農地プランアンケートなどを、まず

精査し、近い将来、地域の農業振興に向けた一定の方向性のアンケートをとる考えでいる。それをまとめ、実施機関などを作成するに当たって、地域の農業の方々と一緒に膝を交えながらつくっていきたいと考えている。

あま市の都市計画道路について



石田 良雄 議員

問 経済の活性化、安全で快適な道路網の整備が重要と考えるが、都市計画道路の整備状況は。
建設産業部長 県および市を合わせて30路線を都

市計画決定している。総延長は約58^キで、そのうち22^キが整備済みであり、整備率は37%になっている。
問 整備には、膨大な事業費が必要だが、整備方針は。
建設産業部長 地域の実情や土地利用の動向などを考慮しながら整備を進める必要があると考えている。しかし、限られた

財源の中では、大幅な整備進捗は難しいが、区画整理事業など、地域と連携してまちづくりとバランスが取れた道路整備を進めたい。
問 今後の整備計画は。
都市計画課長 県道名古屋津島線バイパスや都市計画道路西今宿東条線は県と協力しながら引き続き整備を進めていく。また、土地区画整理事業などは排水対策などを考慮しながら計画的に進めて

いく。また、交差点改良など緊急性が高く、事業効果が得られるものについても整備を進めていくことが必要だと考えている。



西今宿東条線

追跡

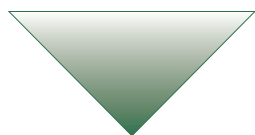
一般質問

その後どうなった？

1年前に行われた一般質問の結果を報告します。

質問

歴史、文化などの観光資源を生かした観光振興は。

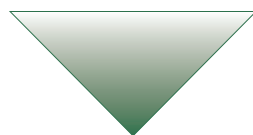


こうなった

あま市観光ガイドマップを作成し、イベントなどで配布した。平成27年2月7日実施の名鉄ハイキングを招致した。

質問

- ①消防団の装備の改善を。
- ②団員の処遇改善を。



こうなった

- ①平成24年度から装備の改善に努めている。平成26年度は、防火服、消防用ホース、投光器などを各分団に配備した。
- ②退職報償金の一律5万円上乗せを実施した。



あま市観光ガイドマップ



防火服

議案等審議結果

議案番号	件名	付託先 委員会	委員会の 審査結果	本会議の 議決結果
議案第21号	平成26年度あま市介護保険特別会計補正予算(第3号)	厚生	全員賛成 原案可決	賛成24 反対:0
議案第22号	平成26年度あま市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	建設産業	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第23号	平成26年度あま市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	厚生	全員賛成 原案可決	賛成:23 反対:1
議案第24号	平成27年度あま市一般会計予算	総務文教 厚生 建設産業	全員賛成 賛成多数 賛成多数	賛成:14 反対:10
議案第25号	平成27年度あま市国民健康保険特別会計予算	厚生	賛成多数 原案可決	賛成:22 反対:2
議案第26号	平成27年度あま市土地取得特別会計予算	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第27号	平成27年度あま市簡易水道事業特別会計予算	建設産業	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第28号	平成27年度あま市営住宅管理事業特別会計予算	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第29号	平成27年度あま市介護保険特別会計予算	厚生	賛成多数 原案可決	賛成:22 反対:2
議案第30号	平成27年度あま市公共下水道事業特別会計予算	建設産業	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第31号	平成27年度あま市後期高齢者医療特別会計予算	厚生	賛成多数 原案可決	賛成:21 反対:3
議案第32号	平成27年度あま市水道事業会計予算	建設産業	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第33号	平成27年度あま市病院事業会計予算	厚生	賛成多数 原案可決	賛成:19 反対:5
議案第34号	市道路線の廃止について	建設産業	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第35号	市道路線の認定について	建設産業	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第36号	平成26年度あま市一般会計補正予算(第6号)	付託省略		賛成:23 反対:1
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について(早川秀子氏)	付託省略		賛成:24 反対:0
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について(吉川朝博氏)	付託省略		賛成:24 反対:0
発議第1号	国による子ども医療費助成制度の創設を求める意見書の提出について	厚生	賛成多数 原案可決	賛成:17 反対:7
発議第2号	あま市議会委員会条例の一部を改正する条例について	付託省略		賛成:23 反対:1
発議第3号	あま市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	付託省略		賛成:24 反対:0
発議第4号	ISILによるテロ行為に対する非難決議について	付託省略		賛成:24 反対:0
請願第1号	子ども医療費中学校卒業まで完全無料化を求める請願書	厚生	賛成少数 不採択	賛成:11 反対:13
陳情第1号	年金積立金の適正運用の確保についての陳情書	厚生	全員賛成 採択	賛成:24 反対:0
発議第5号	年金積立金の適正運用の確保についての意見書の提出について	付託省略		賛成:24 反対:0

議案番号	件名	付託先委員会	委員会の審査結果	本会議の議決結果
議案第1号	あま市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担に関する条例について	厚生	賛成多数 原案可決	賛成:22 反対:2
議案第2号	あま市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例について	厚生	賛成多数 原案可決	賛成:22 反対:2
議案第3号	あま市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例について	厚生	賛成多数 原案可決	賛成:22 反対:2
議案第4号	あま市保育の実施に関する条例を廃止する条例について	厚生	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第5号	あま市部設置条例の一部を改正する条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第6号	あま市情報公開条例及びあま市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第7号	あま市行政手続条例の一部を改正する条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第8号	あま市職員定数条例の一部を改正する条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第9号	あま市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第10号	あま市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:20 反対:4
議案第11号	あま市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:20 反対:4
議案第12号	あま市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:22 反対:2
議案第13号	あま市手数料条例の一部を改正する条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第14号	あま市介護保険条例の一部を改正する条例について	厚生	賛成多数 原案可決	賛成:19 反対:5
議案第15号	海部地方教育事務協議会規約の変更について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:20 反対:4
議案第16号	あま市営土地改良事業の施行について	建設産業	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第17号	平成26年度あま市一般会計補正予算(第5号)	総務文教 厚生 建設産業	全員賛成 全員賛成 全員賛成	賛成:24 反対:0
議案第18号	平成26年度あま市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	厚生	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第19号	平成26年度あま市土地取得特別会計補正予算(第1号)	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0
議案第20号	平成26年度あま市営住宅管理事業特別会計補正予算(第2号)	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:0

あま市議会

検索

<http://www.city.ama.aichi.jp/gikai/>

○議会中継…本会議での一般質問の様子や最終日の採決の様を、ケーブルテレビのクローバーチャンネル（デジタル111チャンネル）にて放映します。放映は生中継とその日の午後7時から再放送しています。（インターネットでも録画配信を行っています。）

○会議録検索…本会議や委員会の会議録を公開しています。探したい言葉を入力すれば容易に検索することができます。

あなたも議会を傍聴しませんか？

今、あま市ではどんなことが議論されているのだろうか。また、どんな計画があってどう進んでいるのであろう。あなたの身近なことも議会で論議されているのかもしれない。あま市役所甚目寺庁舎3階の議会事務局で、住所・氏名などを記入していただくだけで、誰でも傍聴できます。白熱した質問と答弁を、あなたもぜひ見に来られては…。

音声の間こえにくい方のために、赤外線補聴システムを設置しています。ご希望の方にはヘッドホン付き受信機をお貸ししますので、当日、傍聴受付までお申し出ください。

※3月議会の傍聴者数(委員会含む) 延べ11人

次回の定例会は、6月8日(月)からの予定です。

インターネット議会中継を



インターネット議会中継のページ

<http://www.ama-city.stream.jfit.co.jp/>

ご利用ください

6月定例会予定

6月8日(月)	議案説明
6月16日(火)	一般質問
6月17日(水)	議案質疑
6月23日(火)	総務文教委員会
6月24日(水)	厚生委員会
6月25日(木)	建設産業委員会
6月30日(火)	討論・採決

※日程は変更となる場合があります。

編集後記

3月議会が閉会し、新年度の予算が可決されました。そして、4月は議員の改選期となります。

2年間、この議会だよりを通して、市議会の取り組みなどをお知らせしてきましたが、本号が最後の編集となり、次号からは新しい委員にかわります。今後とも「あま市議会だより」をご愛読いただくとともに、引き続き、皆さまのご意見、ご感想などいただきませう、よろしくお願いたします。

■議会だより

(伊藤)

編集特別委員会
委員長 石田 良雄
副委員長 柏原 功
委員 加藤 哲生
委員 藤井 定彦
委員 後藤 幸正
委員 横井 正秀
委員 櫻井 信夫
委員 伊藤 嘉規
委員 岩本 一三

発行/あま市議会 編集/議会だより編集特別委員会

〒490-1198 愛知県あま市甚目寺二伴田76番地 TEL 052-444-3174 FAX 052-444-4055